

緊急事態が起こったら

万一の事態のことは想像したくないものです。しかし、アクシデントは思わぬ時に起きるものですから、そのような事態に対しても準備しておくことは、最悪の結果を防ぐために大切なことです。緊急時には気が動転して冷静な判断・行動は困難ですが、最低限の状態把握と、速やかな連絡、救急隊が到着するまでの救急処置が必要です。事前の訓練がとっさの時に正しい行動を可能とします。入院中にしっかり練習しておきましょう。

観察ポイントを理解しよう

頭、胴体、手足の順に観察しましょう

① 頭(意識レベル、嘔吐の有無、痙攣の有無)

名前を呼んで応答の有無を見ましょう。反応しない場合は痛み刺激(つねる etc)への反応を見ましょう。嘔吐してないか、痙攣がないかも重要なポイントです

② 胴体(呼吸の有無、心拍・脈拍の有無)

胸に手を当ててみて呼吸をしているか、心拍が触れるかどうか確認しましょう。頸や手首、足首などで脈が触れるかどうか確認しましょう

③ 手足(発熱・冷感、麻痺、外傷)

発熱の有無、四肢冷感や色(チアノーゼ)、発汗の有無、麻痺(動かさない部位があるか)、目に見える外傷があるかどうかなども重要なポイントです

人を呼ぼう

速やかに救急隊を呼びましょう。名前と住所、疾患と呼吸器装着の有無、上記の観察ポイントを伝えて下さい。その場が離れられず連絡が困難な場合は、大きな声で人を呼びましょう。救急処置にも人の確保が大切です。

呼吸を確保しよう

救急処置の基本はABCとされています。Aはairwayで気道を確保すること、Bはbreathingで呼吸を確保すること(人工呼吸)、Cはcirculationで循環を確保すること(心マッサージ)のことです。救急隊が到着するまでの5-10分間、呼吸の維持に努めましょう。

気管切開で呼吸器が正常に作動している場合は、気管吸引で痰を取り除いた上で呼吸器を装着します。NIVや呼吸管理を行っていない患者様では、蘇生バックによる救急処置を行います。入院中に蘇生バックによる救急処置を習得しておいて下さい。

心臓マッサージは循環を確保する上で重要な処置ですが、肋骨骨折など合併症も起きやすい処置です。神経筋疾患では変形や骨粗鬆症のため、心臓マッサージが困難な場合も多く、2つの処置を同時に行うことの困難さも考慮すると、心臓マッサージに熟練した人がいる場合を除き蘇生バックによる呼吸確保に専念した方が良いと考えます。

緊急連絡先を掲示しておきましょう

緊急時時には連絡先(緊急受診医療機関、当院、ホームドクターetc)の電話番号などは思い出せないことが多いものです。必要な連絡先を電話やベッドの横に掲示しておきましょう。旅行中などで、普段受診していない病院に救急対応して頂く場合は、病態の正しい理解のために紹介状が必須です。呼吸器やアンビュなどと共に常に患者様と共に携帯しておきましょう。服用している薬が分かるよう、薬局でもらった薬の説明書も患者様の側に置いておきましょう。

緊急医療カード

私は、重度の障害のために医療的ケアを必要としています。緊急時に私の診療をされる方は、このカードの内容をお読みいただいた上で対応していただくようお願いいたします。

氏名			
生年月日	年 月 日生まれ	血液型	型 Rh()
住所			
電話番号			
病名			
合併症			
既往歴			
アレルギー、禁忌薬剤など			

現在受けている医療的処置

人工呼吸療法	無し マスク(鼻マスク、顔マスク) 気管切開		
呼吸器機種			
呼吸器設定			
業者連絡先	業者名	電話番号	
酸素療法	無し 有り(投与量 L/分)		
業者連絡先			
栄養管理	無し 有り(経鼻経管 経口経管 胃瘻 腸瘻)		
投与量	栄養剤	投与量(Cal)	朝： 昼： 夕：
意思伝達法			
投薬内容			
調剤薬局	薬局名	電話番号	
その他			

緊急時医療処置への希望

私は、救急時の医療処置について家族とも相談の上○をつけた処置のみを希望しています(○がない場合は全ての処置に同意します)ので、御配慮いただきますようお願いいたします。なお、私の意識が確認可能な時は私に、確認不能な時は同行者か家族(緊急時連絡先氏名1から3)に御確認いただければ幸いです。

救命のための全ての処置を希望します (はい・いいえ:○をつけた項目のみ希望します)	
呼吸管理	気管切開 気管内挿管 マスクでの換気補助(呼吸器 蘇生バック) 酸素投与
循環管理	心臓マッサージ 昇圧剤・強心剤

緊急時連絡先

家族関係

氏名1		続柄	
住所 電話番号			
氏名2		続柄	
住所 電話番号			
氏名3		続柄	
住所 電話番号			

関係諸機関

受診医療機関	独立行政法人国立病院機構刀根山病院 〒550-8552 大阪府豊中市刀根山 5-1-1 TEL: 06-6853-2001、FAX: 06-6853-3127
ホームドクター	
訪問看護ステーション	
ケアマネージャー	
担当保健師	

メモ

NTT 災害ダイヤル

伝言録音: 「171」にダイヤル→「1(録音)」→「自宅電話番号(市外局番から)」→伝言録音
伝言再生: 「171」にダイヤル→「2(再生)」→「被災者宅番号(市外局番から)」→伝言再生

本人署名: _____ 印

救急処置を学ぶには

一般的な救急処置は講習会などに参加して学ぶことができます。各地の消防署では一般の方を対象とした救急処置の講習会を開いています。日本赤十字社でも救急処置の講習会を開催しています。日本 ACLS 協会はアメリカ心臓協会公認の心肺蘇生法トレーニングコースを各地で開催しています。一般の方は特別な機器を用いない一次救命コースの受講が可能です。代表的な救急処置関連のホームページを下に挙げました。

救命救急処置関連ホームページ

総務省消防庁：<http://www.fdma.go.jp/html/life/>

一般対象の応急処置、救急手当の手順

大阪市消防局：http://city.osaka.jp/shobo/05_2kyukyuu/index.html

「応急手当ガイドブック(携帯電話版家庭の救急ノート)」がダウンロード可能

日本赤十字社：<http://www.jrc.of.jp/study/safety/index.html>

救急処置の手順、講習会の案内など

日本 ACLS 協会：<http://acls.jp/>

アメリカ心臓協会公認の心肺蘇生法講習会を開催

一次救命コース(Basic life support: BLS)は一般の人でも受講可能

災害時の情報収集

災害時には正確な情報の把握が重要です。災害関係の情報収集に役立つと思われる主なホームページを下に挙げました。

災害関係情報ホームページ

マスコミ関連

NHK各局災害情報：<http://www3.nhk.or.jp/saigai/>

中央省庁関連

防災情報提供センター：<http://www.bosaijoho.go.jp/>

国土交通省防災情報：<http://www.mlit.go.jp/bosai/disaster/>

国土交通省・消防局道路防災情報：<http://www.mlit.go.jp/road/bosai/infolist.html>

国土交通省道路局道路規制道路気象情報：<http://www.mlit.go.jp/road/roadinfo/>

総務省消防庁災害情報：<http://www.fdma.go.jp/bn/2004/>

内閣府防災担当災害緊急情報：<http://www.bousai.go.jp/saigaikinkyu/>

厚生労働省医政局広域災害救急医療情報システム：<http://www.wds.emis.or.jp/wds/wdtpmainlt.asp>

気象庁地震情報：<http://www.jma.go.jp/jp/quake/>

気象庁気象警報・注意報：<http://www.jma.go.jp/jp/warn/>

地方自治体関連（*印：緊急情報をメール配信するシステムがある自治体）

大阪府防災ネット：<http://www.cds.osaka-bousai.net/pref/index.html> *

兵庫県防災ネット：<http://bosai.net/regist/index.html> *

京都府防災・防犯 安心・安全：<http://www.pref.kyoto.jp/104.html> *

奈良県防災・危機管理：<http://www.pref.nara.jp/bosai/>

防災わかやま：<http://www.pref.wakayama.lg.jp/bousai/index.html> *

滋賀県防災ポータル：<http://www.pref.shiga.jp/bousai/index.html>

災害時緊急コミュニケーション支援システム：<http://rescue.teacup.com/>

NHKボランティアネット：<http://www.nhk.or.jp/nhkvnet/top.html>